

 昭和46年開校 平成25年CS指定 学校地域教育目標 考え学ぶ子 仲よくする子 たくまい子 地域を愛する子 野火止小は保護者や地域と共にあるコミュニティ・スクールです	めざす学校像 -全ての児童が確実に伸びる学校-	夏休みの生活目標 規則正しい生活をしよう ・朝のうちに学習しよう ・交通事故に気を付けよう ・2学期の準備をしよう
	1学期末号 令和6年7月19日 新座市立野火止小学校 児童数 558名・学級数 21 学級 住所 新座市野火止 4-9-1 TEL 048-477-1211	

もうすぐ葉月 「地域で学ぶ」

校長 丹代 円

7月2日(火) 6年ミニ社会科見学

昨年、「子供110番の家」に新しく登録して下さるといふ会社に、校外安全部の皆さんとご挨拶に伺ったことがありました。事務所に通していただく際に目に入ってきたものに、すっかり心を奪われてしまい、お願いしたのがこの社会科見学です。

快く6年生の見学を受け入れてくださったのは、志木街道沿いにある「中野技術」さんです。埋蔵文化財の発掘調査などを行っているこちらの会社には出土した土器のかけらなどがたくさんあり、記録や復元などの作業が行われています。今年は去年と



違う出土品を使って見学をさせていただきました。今回はその時の6年生の感想を紹介します。

○実際に見ると、昔の時代の人々の考えやくらしが見えてきてとても素敵でした。土器や石を見ると、本当に昔から人が暮らしていて、今につながっているんだなと思いました。

○教科書や動画などでしか見れなかった、土器や石が実際に見れて、縄文と弥生の時の薄さの違いなどが実際に見るととても比べやすく、習ったことを振り返りながら見ることができて貴重な体験ができました。

○黒曜石は思っていた以上につるつるしていてとても綺麗でした。紙を切るときに力を入れて切ろうとしたけど、力を入れなくても「スー」と簡単に切れて驚きました。自分的にはカッターやハサミよりも切り心地がよく印象に残っています。

○私が一番印象に残っているのは、キラキラした粒が入っていた石、土器です。昔の人々が縄などを使って土器に模様を入れているのは知っていましたが、キラキラしたものも入っていてとても驚きました。縄文時代の人もおしゃれだったのですね。



○博物館に展示されるものはどんな風に発掘、修復されるのかを中野技術の方に教えてもらいました。また、レプリカと本物の違いを比べる方法も教えてもらったので、今度博物館に行ったらレプリカと本物の違いを比べてみたいと思いました。

○土器パズルで遊んでみて、奥の部屋で土器を修繕している方々はとても大変なことを行っていることを実感しました。

○まだ世に出回っていない貴重な土器や石器などがたくさんあってワクワクしました。中野技術の皆さんの説明もあってより面白かったです。改めて、「歴史はロマンだ！」と思いました。

他にも「もっと見たかった」「大人になったら仕事をさせてください」など、様々な思いを抱いた社会科見学でした。中野技術の皆さん、有り難うございました！

1学期間、保護者・地域の皆様のご協力のおかげで、大きな事故なく教育活動が進められたことに感謝申し上げます。

40日間の夏休みが始まります。ご家庭で様々な体験をして成長し、2学期にのびっ子たちが元気に学校に戻ってきてくれることを願っています。

